

市民文教常任委員会会議記録（概要）

令和3年5月11日（火）

開 会（午前10時0分）

植竹委員長

4月19日開催の政策研究審議会に矢作副委員長とともに出席し、「教職員の働き方改革に関する取り組みについて」の答申を受領したので、その写しを各委員に配信した。この答申を受けて、提言案を作成し、事前に配信した。

答申では諮問に関する4項目では、所沢市議会として教育委員会に提言等で意見を求めていくことの妥当性を否定するものではありませんとのことだった。意見やアドバイスがあり、例えば、業務軽減検討委員会の会議内容を踏まえた上での議論を期待するというアドバイスもあった。

そのような答申をいただいたので、まずは4項目については妥当であると認識した。矢作副委員長はどのように受け止めたか。

矢作副委員長

内容的に否定的なことはなく、不十分な面もあるけれど進めてくれという内容であるかと受け止めた。概ね了とされたと思った。

植竹委員長

そのような雰囲気、内容であると思っている。業務負担軽減検討委員会の会議内容を踏まえた上での議論を期待するという意見があったので、諮問については1項目目について、「自治会及び町内会が実施する夏祭りや運動会などの行事に、教職員がボランティアや役員として参加すること

や、各地域で開かれる会合及び会議への参加など、地域と学校との連携は、必要であると思うが、各学校の実状に合わせ教職員の負担を軽減するため、地域や外部団体主催の行事等の参加について地域と学校で速やかに協議を行うこと。

協議の際に必要な場合は教育委員会も参加すること。またその他負担軽減対策の実施のため、所沢市立小中学校県費負担教職員の業務負担軽減検討委員会での検討をより推進すること。」としていたが、提言案については、項目を分けた。提言案は、「地域や外部団体が実施する行事等に参加することに対し、各学校の実状に合わせ教職員の負担を軽減するため、今後の行事等の参加について地域と学校による協議の実施に努めること。」との1つの項目にまとめた。業務負担軽減検討委員会の検討については最後に別の項目とした。

2項目目について、諮問では「学校内での児童・生徒間及び児童・生徒と教職員との人間関係によって生じる問題や、部活動における個別指導などを求めることや、教職員に対する苦情も含め保護者からの要望・要求や相談に対し、各学校や教育センターに専門の窓口を設置し、スクールカウンセラーを増員し窓口の体制を充実することで、教職員による要望・要求への対応を減らし、児童生徒に接する時間や授業の準備に要する時間を確保できるようにすること。」としていたが、事細かな説明を省いて、端的に、提言案では、「学校内での人間関係によって生じる問題や、苦情も含め保護者からの要望・要求や相談に対し、各学校及び教育センターに専門

の窓口を設置し、スクールカウンセラーを増員するなどによって体制の充実を図り、要望・要求や相談等への対応を減らし、児童・生徒に接する時間や授業の準備に要する時間の確保への取組を推進すること。」とコンパクトにまとめた。

3項目目については、おおむね変えていない。諮問したものとほぼ同じものを掲げている。一部、諮問では「児童生徒にとって最適な質の高い教育が」としているが、くどいので提言案では「最適な質の高い教育が」と短縮させた。

4項目目について、諮問内容とほぼ変わらず、提言案としている。諮問では「授業を行う教職員へのICT研修の充実」としているが、提言案では説明を省き、コンパクトに「教職員へのICT研修の充実」としている。

「その支援員を確保するうえで、地域の人材を活用することについても考慮すること。」についてもコンパクトにまとめて、提言案では削除した。

おおよそ諮問内容に沿った提言とした。改めて提言案を読むので、皆さんからご意見があれば承りたい。「教職員における働き方改革に係る提言」としているが、他の自治体とほぼ同じ内容となっている。特別、教職員における働き方改革に係る提言で、何か特化したものではなく、他の自治体と同様にしている。それでは提言案を読み上げる。

(委員長が提言案を読み上げる。)

答申を受けての説明を終えるが、皆さんから何かあるか。

矢作委員

文言整理のため、3項目目について、「教職員自身の生活の質の改善で

授業の充実に注力し質の高い教育が提供できるように、年次有給休暇の消化率向上や週末の確実な休息の確保を推進するため、年次有給休暇の取得目標値や休日勤務時間数の上限を設定し、学校との連携を強化して目標達成に努めること。」とし、4項目目について、児童・生徒が所持する端末だけでなく、他市の事例を聞くとスマホにダイレクトに送ることもあるので、端末を毎日持ち帰ることではないのかと思い、「文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に基づく授業を効果的なものとするとともに教職員の業務負担増としないため、教職員へのICT研修の充実とコンピューターの操作をサポートする支援員を十分に確保すること。さらに家庭への通知などの文書データの配信については、書面の準備・郵送などの作業を削減するなど、ペーパーレスを検討すること。」とすることを提案する。

植竹委員長

内容は変わることなく、多少コンパクトにされると認識している。皆さんがよければ、ただいまのような形に削除するところ、コンパクトにするところはしたいと思うがいかがか。3項目目は「目標達成を促すことに努めること」としていたが、くどかったので「目標達成に努めること」としたい。「授業の充実に注力することによって最適な質の高い教育」を「授業の充実に注力し質の高い教育」とコンパクトにしたい。4項目目について「児童・生徒が所持する端末」を削除し、コンパクトにしたい。意見がなければ多少の文言整理をしたものについて提言としたい。当初の案から若干変わったので、改めて提言を作成するので暫時休憩とする。

休 憩（午前10時19分）

再 開（午前10時26分）

植竹委員長

提言を作成したので、読み上げる。

教職員における働き方改革に係る提言

令和3年5月11日

市民文教常任委員会

所沢市教育委員会では、国が示す教職員の働き方改革に関する指針に基づき、「所沢市立学校における働き方改革基本方針」を新たに策定し、様々な取組が実施されている。

市民文教常任委員会では、教職員の働き方改革について、令和元年11月に長崎県大村市及び熊本県熊本市を視察し、他市における教職員の働き方改革について調査を行うとともに、令和元年7月25日及び令和2年7月28日に市教育委員会が実施する教職員の働き方改革について、さらに令和2年1月29日には市民部が実施する地域と学校との連携について、特定事件として審査を行った。

当委員会は働き方改革で教職員自身の生活の質を改善し、授業の充実に注力することにより児童・生徒にとって最適な質の高い教育が提供されることになると考え、視察や調査結果等を踏まえ、今後の所沢市教育委員会の取組に対し、下記のとおり提言する。

記

1. 地域や外部団体が実施する行事等に参加することに対し、各学校の実状に合わせ教職員の負担を軽減するため、今後の行事等の参加について地域と学校による協議の実施に努めること。
2. 学校内での人間関係によって生じる問題や、苦情も含め保護者からの要望・要求や相談に対し、各学校及び教育センターに専門の窓口を設置し、スクールカウンセラーを増員するなどによって体制の充実を図り、要望・要求や相談等への対応を減らし、児童・生徒に接する時間や授業の準備に要する時間の確保への取組を推進すること。
3. 教職員自身の生活の質の改善で授業の充実に注力し質の高い教育が提供できるように、年次有給休暇の消化率向上や週末の確実な休息の確保を推進するため、年次有給休暇の取得目標値や休日勤務時間数の上限を設定し、学校との連携を強化して目標達成に努めること。
4. 文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」に基づく授業を効果的なものとするとともに教職員の業務負担増としないため、教職員へのICT研修の充実とコンピューターの操作をサポートする支援員を十分に確保すること。さらに家庭への通知などの文書データの配信については、書面の準備・郵送などの作業を削減するなど、ペーパーレスを検討すること。

5. この他、負担軽減対策の実施のため、所沢市立小中学校県費負担教職員の業務負担軽減検討委員会での検討をより推進すること。

以上

このとおり提言し、次回の6月定例会の委員長報告で報告することよろしいか。(委員了承)

散 会 (午前10時29分)